

コンバータユニットFR-CC2シリーズ ソフトウェアバージョンアップのお知らせ

平素より当社駆動制御機器につきまして格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
コンバータユニットFR-CC2シリーズにおいて、使いやすさ向上のためソフトウェアをバージョンアップ
致しますのでお知らせします。

記

1. 対象機種

FR-CC2 シリーズ

2. 変更内容

(1) 過負荷電流定格の変更

FR-CC2-H315K～H450K において過負荷電流定格を以下のように変更します。

	過負荷電流定格
変更前	150% 60s、200% 3s
変更後	200% 60s、250% 3s

(2) 停電時減速停止機能

瞬停や不足電圧発生時にモータを減速停止させることができます。

Pr.	名称	初期値	設定範囲	内容
261	停電停止選択	0	0	停電時減速停止機能なし
A730			1、2、21、22	停電時減速停止機能あり

・パラメータ設定

停電時減速停止機能を使用する場合は、インバータ側の Pr. 261 の設定値に合わせて、コンバータ
ユニット側の Pr. 261 を下表のとおり設定してください。

Pr. 261設定値		内容	瞬停再始動有効時 (Pr. 57 ≠ “9999”) の 停電時減速停止機能
インバータ	コンバータユニット		
0	0	停電時減速停止機能なし	—
1、11	1	停電時減速停止機能あり	無効
2、12	2		有効
21	21		無効
22	22		有効

・停電停止信号 (PWF 信号)

瞬時停電、不足電圧、入力欠相のいずれかが発生中に停電停止信号 (PWF) を ON します。

発行 日付	2014年7月	件 名	コンバータユニット FR-CC2 シリーズ ソフトウェアバージョンアップのお知らせ	三菱電機株式会社名古屋製作所 〒461-8670 名古屋市東区矢田南5-1-14 TEL (052) 721-2111大代表
----------	---------	--------	--	--

(3) セルフパワーマネジメント

モータ駆動前に入力側電磁接触器（MC）をONし、モータ停止後にMCをOFFすることで主回路電源供給を停止し、待機電力を削減できます。

Pr.	名称	初期値	設定範囲	内容
248 A006	セルフパワーマネジメント 選択	0	0	セルフパワーマネジメント機能無効
			1	セルフパワーマネジメント機能有効（保護機能動作時 主回路OFF）
			2	セルフパワーマネジメント機能有効（回路故障保護機 能動作時主回路OFF）
30 E300	主回路電源供給時リセット 選択	0	0	制御回路のみ電源供給している状態から、主回路に電 源供給した場合、コンバータリセットを行います。
			100	制御回路のみ電源供給している状態から、主回路に電 源供給した場合、コンバータリセットを行いません。

(4) 商用運転切換機能

商用運転切換機能に対応するため、以下の出力信号を追加します。

設定値		信号名	機能	動作
正論理	負論理			
214	—	Y214	コンバータユニット異常 (E. CPU, E. OHT)	コンバータユニット正常時にON します。コンバー タユニットの保護機能 (E. CPU, E. OHT) が動作し たとき (重故障時) にOFF します。
9999	—	—	機能なし	—

3. 製品切換時期

2014年8月工場生産分より順次実施します。

4. 製品識別方法

本バージョンアップ品は、コンバータユニット本体の定格名板に記載されている SERIAL (製造番号) が下記の番号以降となります。

定格名板例

□ 4 8 ○○○○○○
記号 年 月 管理番号

SERIAL: (製造番号)

SERIAL は、記号 1 文字と製造年月 2 文字、管理番号 6 文字で構成されています。
製造年は西暦年の末尾 1 桁、製造月は 1~9(月)、X(10月)、Y(11月)、Z(12月)で
表します。